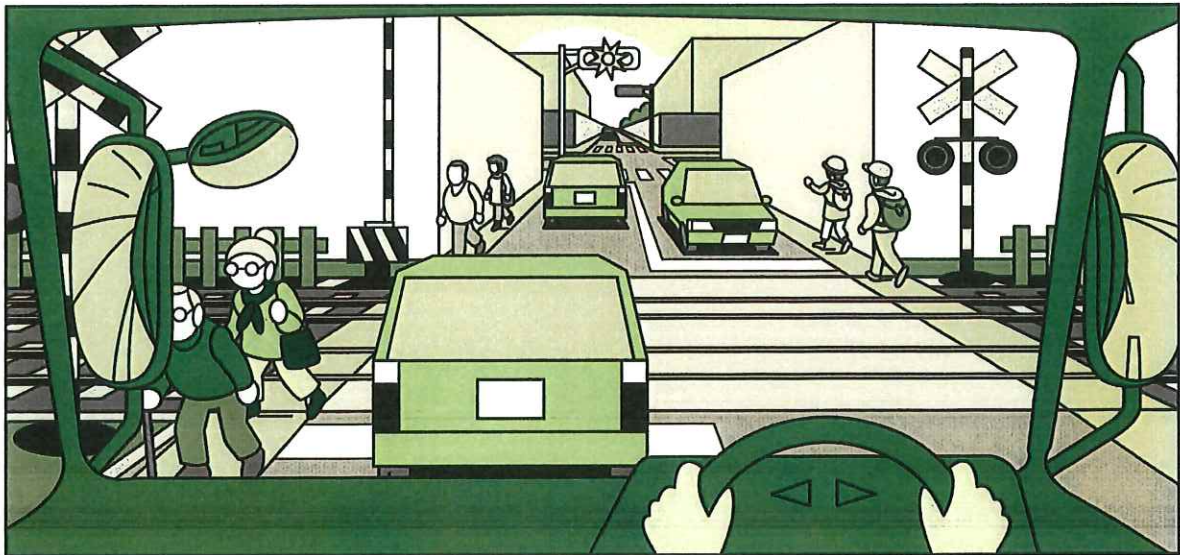


危険予知訓練 (KYT) シート：交通事故防止編 あなたならどうしますか？

〔第 170 回〕「踏切の通過」

状況

前車に追従して踏切に差しかかりました。自車の前には高齢歩行者がいます。また、踏切の先の信号が黄色に変わりました。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



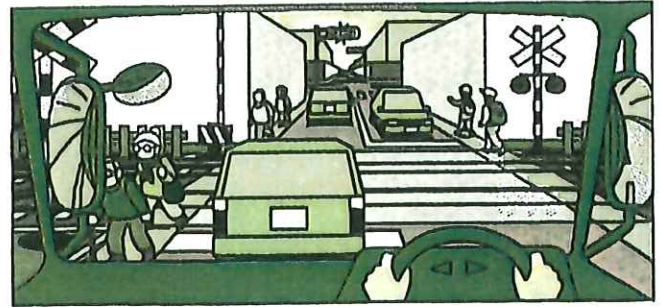
◆どのような危険がありますか？

◆どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

危険予知訓練(KYT)シートの解説

▶ 交通事故防止編

前車に追従して踏切に差しかかりました。自車の前には高齢歩行者がいます。また、踏切の先の信号が黄色に変わりました。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



どのような危険がありますか？

- ①踏切の手前で停止した前車に追突する危険があります(図1)。
- ②高齢歩行者との接触を避けようとして、右側に寄りすぎて対向車と衝突する危険があります(図2)。
- ③線路内に立往生して、列車と衝突する危険があります(図3)。

どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

- ①前車が踏切に差しかかっているため、前車が踏切の手前で一時停止することが予想できます。漫然と運転していると、前車が停止した際に追突する危険があります。まず、速度を落として車間距離をとりましょう。また、道路交通法では、踏切を通過する時は、踏切の直前で停止して安全を確認した後でなければ進行してはならないと定められています。踏切直前での一時的停止を徹底してください。
- ②この場面では、高齢歩行者との衝突を避けるため、十分な側方間隔をとる必要がありますが、側方間隔をとろうとして右側に寄りすぎると対向車と衝突する危険があります。踏切内を通過する時は、やや中央寄りを走行しますが、その際も通行する歩行者や自転車、対向車の動静を確認しましょう。特に高齢者はふらついたり、転倒することがあるので注意してください。
- ③踏切前方の信号が黄色になったことから、踏切の先で車が詰まってしまうことが考えられます。安易に踏切に進行すると、踏切内に立往生して列車と衝突する危険があります。踏切内でのトラックと列車の衝突事故は、重大事故になるだけでなく、長時間の列車の運行停止など、社会的な影響も大きくなります。踏切に進入する前に、踏切の先に自車のスペースがあるかしっかり確認してくだ

図1

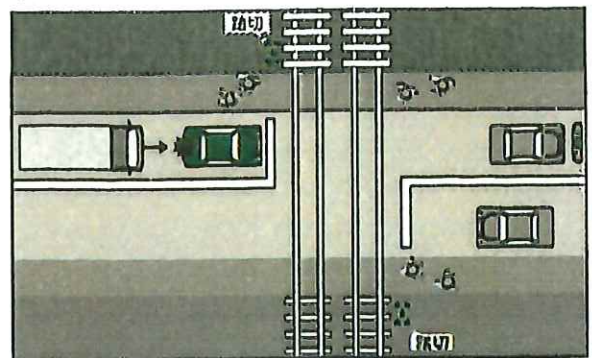


図2

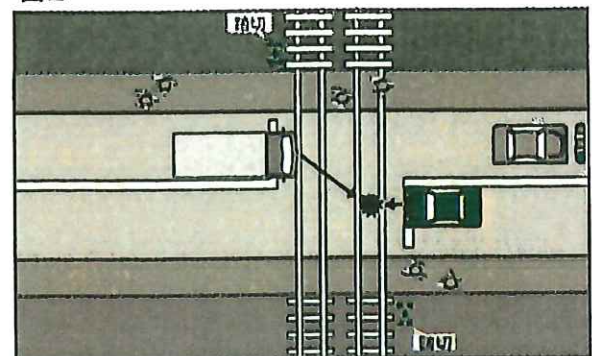
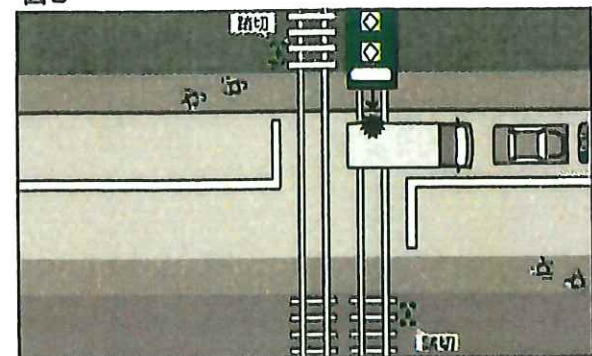


図3



さい。また、万が一、踏切内で立往生した時は、すぐに踏切の近くに設置されている「非常停止ボタン」を押すか、自動車内の発炎筒を使って、接近している列車に自分の存在を知らせましょう。